

ふくしまファンクラブ

会報

Vol.25

平成 25 年（2013年）6月 15日発行



会津美里町のおやめ苑



鳥見山公園のおやめ



駒止湿原のワタスゲ



ミニ尾瀬公園のコマクサ

ふくしま デスティネーションキャンペーン 開催決定！

今年の3月15日、東日本旅客鉄道株式会社と福島県の共同記者会見で、平成27年春のふくしまデスティネーションキャンペーン（以下「DC」）の開催決定を発表しました。

DCとは、JRグループ6社（北海道、東日本、東海、西日本、四国、九州）と自治体が協力し、全国規模で集中的に観光誘客を行う国内最大規模の観光キャンペーンです。開催は再来年ですので、まだ先の話かと思われませんが、来年の春にはブレDCがあり、もうDCに向けた準備は始まっています。

ブレDCとは、DC本番に向けて体験プログラムや各種イベントを1年前から実施することで、お客様のおもてなし向上と地域の受入体制の強化を図るものです。

そこで、福島県では、このブレDC開催に向け、観光資源の掘り起こしや磨き上げ、

おもてなしの充実などを行う準備をしております。

その1つとして福島県が全国に誇れる「花」の魅力をお客様にお伝えする「花の王国ふくしま 八重たんフラワースタンプラリー」を6月末まで実施しております。梅に始まり、三春の滝桜に花見山の桜、矢祭山のつつじに須賀川の牡丹園、6月以降のこれらの時期でも、会津美里町のおやめ苑、駒止湿原のワタスゲやミニ尾瀬公園のコマクサなど、豊かな自然が織り成す花のリレーで皆さまのお越しをお待ちしております。



3月15日、東日本旅客鉄道株式会社 里見仙台支社長から佐藤知事へと開催決定通知が手渡されました。



福島の新連載

福島の酒蔵を巡る

第一回・会津坂下町

新連載

福島県は言わずと知れた酒処。本連載では、福島県の酒の魅力を作り手や携わる方々の言葉から探る。福島県の酒を知ることによって人生の楽しみが1つ増えるかもしれません。

初回の舞台は会津坂下町。会津若松市や喜多方市という主要都市まで三里

(12km)と交通の要衝に位置し「坂下の馬鹿三里」と言われている。坂下馬刺し(さくら肉)で有名だが、米どころ会津の中でも有数な良質米と豊富な水に恵まれていることなどから極上の地酒ができる。町内には3つの酒蔵があり、今年の全国新酒鑑評会では全ての蔵が金賞を受賞、それぞれ魅力的な酒造りを行っている。



福島に嬉しいニュースが届いた。平成25年5月17日、全国新酒鑑評会の審査結果が発表され、都道府県別で最多の26銘柄が金賞を受賞したのである。これまでに最も多くの金賞を得た日本一、東日本大震災から2年余、震災後数多くの風評被害に苦しみながらも、真摯に酒造りに取り組んだ努力の賜物です。

町内で五ノ井酒店を営む五ノ井智彦さんに酒蔵のお話を伺った。

会津坂下町の酒は、昔から各蔵がそれぞれの販路を持ち、普通酒を主流に作ってきましたが、今から20年ほど前に、山形県で「十四代」が登場し酒造りの現場に衝撃が走ったんです。新潟酒を中心とした淡麗辛口ブームが起きていたところで、これらを受け、各蔵にも意識が高まり受け継がれてきた技術や個性を活かしこだわりの酒を生み出してきたんです。「十四代」から5年後「飛露喜」(廣木酒造)が登場し「一生青春」(曙酒造)や「真実」(豊国酒造)という福島県ブランド認証酒とともに会津坂下町の酒が全国区に上りつめていったんです。

蔵元と二人三脚で歩んできた五ノ井さ

プレゼント

五ノ井酒店より会津坂下町の酒蔵で作られた銘酒を4名様に。
(詳しくは8ページに)



会津旨酒 五ノ井酒店
会津坂下町市中一番甲 3551
電話 0242-83-2170

んに、酒店としてのこれまでを伺った。

県外の酒を取りそろえたことや地元酒に立ち返ったこともありましたが、お客様は常に新しい酒を求めて定着しなかつたんです。おいしい状態のままお届けする方法を試行錯誤しながら、出来たて、絞られたの酒を量り売りし、少しずつ顧客を増やしていきました。今は、『会津旨酒』をキーワードに地元の酒を全国に届けることを使命と考えています。

東日本大震災はどのような影響を与えましたか？

震災に動じる蔵はありませんでした。あたり前に酒造りを続け、安全性を訴え続けました。逆境に対して粘り強く対応してきたことが、日本一を再び引き寄せた原動力なのかも知れません。

会津坂下町のご紹介

「中野竹子」ゆかりの町

現在、大河ドラマ「八重の桜」に登場している中野竹子は、会津坂下町ゆかりの人物です。1年余りを坂下で過ごし、戊辰戦争において薙刀を手に勇猛果敢に戦いますが敵の銃弾に倒れ、母と妹の手により、竹子の首は会津坂下町法界寺に葬られたのです。わずか22歳の生涯でした。

中野竹子を顕彰する「小竹会」により毎年9月に墓前祭が行われ、竹子の遺志が継承されています。

竹子辞世の句「武士の猛き心にくらぶれば、数にも入らぬ我が身ながらも」



中野竹子イメージキャラクター「こたけちゃん」



合資会社 廣木酒造本店

「酒造りで目指すは全国トップ」と話す廣木健司代表。製法にもこだわり、勝負できる酒造りを続けてきた。「トップを目指すなら酒米は山田錦が王道だが、これはいわばプロ野球での外国人選手、地元会津で作られた五百万石という選手に数人の外国人選手が加わって今の酒が形作られている」日本酒にあまり馴染みの無い方にも伝わる丁寧な言葉に、廣木さんがイメージする酒米1粒1粒を具体的に感じることができると。



廣木にしてしまう魅力がそこにはある。
住所：福島県河沼郡会津坂下町市中
二番甲3574
代表銘柄：「飛露喜」「泉川」



曙酒造 合資会社

「自分たちの酒造りと向き合いました」と話す鈴木孝教営業部長。地元のメンバーとともにグループを作り、議論を重ね楽しみながら酒造りに取り組んできました。日本酒ベースのリキュール「snow drop」も成果の一つです。1年半の試行錯誤で30回もの試作品の末の誕生でした。「免許取得日は震災の前日（3月10日）で材料となる(株)会津中央乳業の原乳も原発事故でしばらくは出荷がままならず、廃棄しなければならぬという状況まで追い込まれました。そんな中で6月にやっと販売開始にこぎつけ、今では好評をいただいています」県内でも品薄が続くほど好調な売れ行きです。



住所：福島県河沼郡会津坂下町戌亥2
代表銘柄：「天明」「一生青春」
「snow drop」

豊国酒造 合資会社

「全国新酒鑑評会で6年連続金賞を受賞している蔵は多くはないと思います」と、高久禎也代表は話す。普通酒から上級酒まで「ふなしほり」にこだわり、丁寧な酒造りに取り組んできた成果です。「これまで、培ってきた歴史と伝統を活かしながら、時代に合うように変化を続けてきた。今後は、輸出にも力を入れていきたい」と、国際的なチャレンジに取り組む姿勢を見せる高久さん。ロンドンで行われた品評会でもシルバーマダールを獲得。会津坂下町から世界が見えてきた。



住所：福島県河沼郡会津坂下町字市中
一 番甲 3554
代表銘柄：「學十郎」「真実」

御田植祭 7月7日

場所：諏訪神社・栗村神社周辺
及び町内

ばんげ夏まつり 8月第1日曜

場所：役場前メインストリート

まつりの問い合わせ...

会津坂下町観光物産協会

Tel 0242-83-2111

是非、会津坂下町をお訪ねください。

会津を呑みつくせ！
東京會津祭

今回ご紹介した「曙酒造」をはじめ会津を代表する8蔵の日本酒試飲イベントが東京で開かれます（有料）。興味のある方は是非ご参加ください。

日時：7月21日(日)

第1部 12:20～15:20

第2部 16:00～19:00

場所：アーキテクトカフエ汐留

参加蔵元：会津酒造、曙酒造、高橋庄作酒造店、花泉酒造、松崎酒造店、宮泉銘醸、大和川酒造店、夢心酒造
問い合わせ info@natural-fact.jp

WEBサイトを「東京會津祭」で検索！

今、

福島空港が面白い!



今年3月20日、開港20周年を迎えた福島空港。これまで1千万人を超える利用者を数えるばかりでなく、地域密着の取組で数多くのイベントを実施してきた。

ウルトラマン空港とも呼ばれる福島空港は駐車場（2、300台）が無料、空路利用者だけではなく、観光客が訪れても気軽に立ち寄れて楽しめる空港だ。福島を訪れた際は、「空の駅」福島空港にも是非足を運んで欲しい。

新連載



福島の大空を見上げて

5月にはスイスの時計メーカー、ブライトリング社のアクロバット飛行チーム「ブライトリング・ジェットチーム」が福島空港を訪れ、被災地に元気を届けるパフォーマンスを見せた。

福島空港を飛び立った7機は郡山市や福島市、会津若松市など県内各地を編隊で飛行。地上から多くの県民が空を見上げ、華麗なフォーメーションとともに福島に元気を運んでくれた機影を追っていた。



地元小学生がジェットチームをスイス・フランスの国旗でお出迎え

日本で唯一！ ウルトラマンに会える空港



「ウルトラマン」の生みの親、円谷英二氏は明治34年、福島空港のある福島県須賀川市に生まれる。後にカメラマンとして映画界に入り、特撮の神様と呼ばれるほど数々の特殊撮影技術を生み出した円谷監督は、小さい頃パイロットとなる夢を持っていたといわれる。その大空への夢は、今、故郷福島空港を舞台に実現している。

日本で唯一「ウルトラマン」に会える空港であなたは何人のヒーローを見つげられるか。

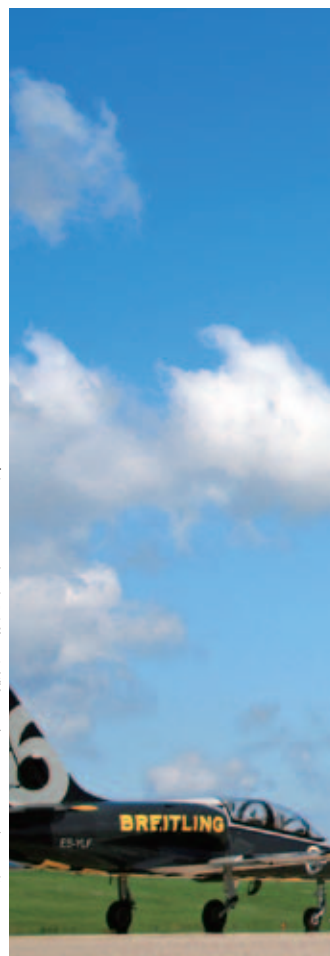
福島空港を支える人々

福島空港で働くスタッフは約280名。様々な職種があり、それぞれがスペシャリストとしてプロフェッショナルな仕事をこなすことで旅行者の安全・安心を支えている。

株式会社ANAエアサービス福島に勤務しチケットカウンターに立つ石川奈菜さん（北海道函館市出身）もその一人。さわやかな笑顔で福島空港を訪れるお客様を迎えている。



イベントのため福島空港に駐機したライトリングジェットチーム



取材日には84名が台湾チャーター便で飛び立った
(写真は出発式の様子)



プレゼント

福島空港オリジナルグッズを10名様に。(詳しくは8ページに)

石川さんの感じる福島空港の良さは？

「駐車場が無料なのでお車で来られる方にとっても便利ですし、リムジンバスや乗り合いタクシーなどもあるので、お車以外のお客様にも安心です。国内定期便は、札幌新千歳空港と大阪伊丹空港に1日計7便運航しています。乗継便をご利用いただくと、西日本各地や北海道内各地にも行くことができます。乗継割引の設定もございますので、お気軽にお問い合わせください」

福島空港の一押し「さるなしジュース」

さるなし（「こくわ」とも呼ばれるキウイフルーツの原種）の生搾り100%ジュース。「空の駅たまかわ」で限定販売！520g 1,260円。

販売員の大垣さんにおすすめポイントを伺いました。

「さるなしは、ビタミンCがレモンの約10倍。亜鉛が含まれていて体質改善にも役立ちます。ジュース以外にジャムやワイン、入浴剤なども人気です。美容と健康のために是非一度さるなし商品をお試しください」



【空の駅たまかわ】
福島空港ターミナルビル 1F
営業時間 7:45～18:45（無休）

イベント情報

7月19日(金)から、須賀川市立博物館で企画展「特撮ヒーロー飛翔展(仮称)」が開催される予定。故円谷英二監督が円谷プロを設立して50年を記念したもので、福島空港でもタイアップイベントを開催します。また、今年の新企画として、ANAスタッフの案内で福島空港をめぐる見学ツアーを開催予定（小学校や児童クラブ等が対象。年10回程度）。他にも楽しいイベントが盛りだくさんです。日程や内容が決まり次第、福島空港ホームページの「イベント情報」でお知らせしますので、是非ご覧ください！



子ども達が消防防災ヘリコプターの仕組みを見学

福島県 ふるさと 暮らし セミナー



福島県は、東京都千代田区有楽町に「ふくしまふるさと暮らし情報センター」を設置。個別相談やセミナーを実施することで、定住や二地域居住を希望する方に向けて福島県の情報を発信しております。セミナーでは、移住された方の体験談や地域の紹介などもあり、実施するセミナーごとに特色ある内容となっております。移住に興味をお持ちの方は是非福島県の窓口へ足を運びください。

※セミナーは定員制となっている場合がございますので、ふくしまふるさと暮らし情報センターのホームページなどで事前にご確認ください。

セミナーレポート

5月12日(日)には、川内村のセミナーを実施いたしました。セミナーでは、復興の最前線で活躍されている川内村復興対策課の井出寿一課長と、長崎大学大学院生であり、保健士・看護師として川内村の長崎大学サテライト施設で働く折田真紀子さんをお招きして、川内村の現状や将来像などをお話いただきました。

まず、井出課長から川内村の現状や村の施策などについての説明がありました。

宅地周辺の除染は全て完了し、農



地の除染も進んでいます。川内村の住民の多くは双葉や富岡で就労されていた人も多く、除染と並び復興の最大の課題は雇用の創出でした。そのため、川内村では雇用のための企業誘致を推進し、実際に菊池製作所(東京都八王子市)が川内村に拠点を構えていることなどの説明がありました。

さらに定住者の生活環境を整備する村の施策について説明が続きます。たとえば住宅建設補助として1000万円以上の住宅を建設した場合に100万円を補助することや、若い方が定住しやすいよう、村営アパートの建設が進んでいるとのこと。

次に放射線の調査や村民の健康相談を受けている折田真紀子さんから、川内村での活動や放射線、ご自身の生活

についてお話がありました。その専門的見地から、0.23μSv/hという

川内村の放射線量は日常生活に問題は無いと説明がありました。それでも「お米を食べても大丈夫か」「畑をつくっても大丈夫か」といった健康相談が多いそうです。折田さんは住民との対話を大切にして放射線に関する疑問に添えていきたいとおっしゃっていました。また、活動を通して、地域の人の温かさ、人の良さに触れて、移り住んだ後の不安も特になかったとのことでした。

今回の川内村のセミナーは、放射線に対する取り組みや復興への取り組み、雇用・住居など、そこで暮らしやすいイメージや不安が解消されるような具体的なお話がたくさんありました。

ふくしまふるさと暮らし情報センター

ご利用時間／月～土曜日
10:00～18:00

〒100-0006
東京都千代田区有楽町 2-10-1
東京交通会館 6F

NPO ふるさと回帰支援センター 内
電話 03-6273-4401
FAX 03-6273-4404
<http://www.furusatokaiki.net/>



お気軽に
ご相談ください

ふくしま暮らし相談窓口の
ごあんない

「ふくしまふるさと暮らし情報センター」には、いなか暮らしを希望する方に向けた福島県の情報が満載。さらに会津出身の専門相談員、星久美子さんが丁寧な対応で皆様の疑問にお答えします。加えて、就職相談窓口「ふるさと福島就職情報センター」の東京窓口も併設しておりますので、定住・二地域居住相談と就職相談を一度にすることが可能です。

ふくしま八重紀行

連載第一回 白河市

平成25年大河ドラマ八重の桜の舞台を巡る新シリーズ、第1回はみちのくの玄関口『白河市』を取り上げる。戊辰戦争「白河口の戦い」では旧幕府軍と新政府軍が激突、千人を超える死者を出す最大の激戦地となった地である。



稲荷山で当時を偲ぶ ①



稲荷山から見る小丸山 ①



ツアーガイドしらかわの活動の様子 ②



白河小峰城は現在修復が続いている ③



「二ノ丸茶屋」の白河だるまバーガー。パンが柔らか、具材はジューシーでおすすめです! ④



旧幕府軍が陣をひいた「稲荷山」(地 図①)は現在、市民が憩う公園となっている。戊辰の碑が建つ入口から小高い丘に登り、南方を眺めると新政府軍が陣をひいた「小丸山」を望むことができ、両軍が対峙したその姿を想像しながら時の流れを感じることができる。

国指定城跡の白河小峰城(地図③)は現在石垣の修復工事が行われており、入場はできないが、修復に関する展示がされている。これからどのように修復が行われていくのかを探るのも興味深い。ボランティアガイド「ツアーリズムガイドしらかわ」も城を拠点に活動

しており、案内を受けることができる。公園内には歴史資料を展示している「白河集古苑」、お休み処「二ノ丸茶屋」が通常通り営業しているほか、被災した富岡町から白河観光人力車も営業している。(地図④)

2013年NHK大河ドラマ特別展「八重の桜」

開催期間 平成25年7月3日(水)まで(休館日なし)
 開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)
 会場 福島県立博物館(福島県会津若松市城東町1-25)
 観覧料 一般・大学生 1,000円/高校生以下は無料
 ※中学生以下の方には「ジュニアガイド」を配布します。



プレゼント

入場券をペアで5名様に。(詳しくは8ページに)

新種の桜「はるか」植樹!

4月20日、白河市南湖公園(地図⑤)に綾瀬はるかさんと西島秀俊さんのお二人が出席し、綾瀬さんが命名した新種の八重桜「はるか」の第1号の植樹式が行われました。約1.5mまで育った苗木が、これからのように成長し花をつけていくのが楽しみです。



(右から)植樹をする佐藤福島県知事、綾瀬はるかさん、西島秀俊さん、鈴木白河市長

福島県のアンテナショップへお越しください!!

会員証提示でソフトクリームが 50 円引き

福島県八重洲観光交流館では、福島県の特産品に加えて、会津の牛から絞った生乳だけを使用したソフトクリーム「会津べこの乳ソフト」(300円)を販売しております。

6月18日から会員証を提示することにより、こちらのソフトクリームを50円引きでご提供いたします。これから冷たいものおいしい時期になりますので、八重洲観光交流館で「会津べこの乳ソフト」を召し上がってはいかがでしょうか。



ふくしまファンクラブ会員 1万人ありがとうキャンペーン

福島県八重洲観光交流館で、会員拡大キャンペーンを実施します。キャンペーン期間は7月8日(月)～15日(祝)で、期間中に入会いただいた方には、果汁100%の缶ジュース「桃の恵み」「林檎の想い」と八重たんグッズをプレゼントいたします。



「桃の恵み」と「林檎の想い」

福島県八重洲観光交流館

東京駅八重洲南口徒歩3分
営業時間 / 10:00 ~ 19:00
電話 / 03-3275-0855
<http://www.tif.ne.jp/jp/sp/yaesu/>



ふくしまファンクラブ会員が1万人を達成!

ふくしまファンクラブは平成25年6月2日に会員数1万人を突破しました!平成19年5月にスタートし、約6年間での達成です。これからも福島県の旬な情報を発信していきます。会員協賛店も是非ご利用ください。



1万人目の方へはプレゼントをお送りいたしました

メール会員
募集!

会報発送に代えて、メルマガ方式により情報をお届けするメール会員も引き続き募集中です。一般会員からの移行も可能ですので、お得なメール会員もよろしくお祈いします。

【移行登録方法】 氏名と会員番号とメールアドレスをご連絡ください。
FAX024-521-7888 又は メール f.fanclub@pref.fukushima.lg.jp
※メール会員へは封書による会報は原則発送しません。

ふくしまの
うまいもん・
すてきなもん
プレゼント

ご応募いただいた方の中から抽選でプレゼント!

- ①五ノ井酒店より会津坂下町の特選銘酒を4名の方へ(2ページ)(廣木酒造「泉川純米吟醸」、曙酒造「snow drop宮袋いちご」「天明純米吟醸」、豊国酒造「吟醸酒真実」から1本)※品物は選べません。
※未成年者のお酒へのご応募はご遠慮ください。
- ②福島空港オリジナルグッズを10名の方へ(5ページ)
- ③2013NHK大河ドラマ特別展「八重の桜」入場券をペアで5名の方へ(7ページ)

応募方法 はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、会員番号、ご希望のプレゼント、今回の会報の感想などを明記し下記のあて先へご応募ください。

応募締切 6月28日(金)必着
あて先 〒960-8670 (住所記載不要) 福島県庁観光交流課
ふくしまファンクラブ「プレゼント」係

※当選者の発表は賞品の発送に代えさせていただきます。お預かりした個人情報は、賞品の発送などファンクラブに関する事務以外に使用することはありません。福島県個人情報保護条例に基づき、個人情報の目的外利用はいたしません。



①



②



③

福島を訪れる方へ

東京電力の原発事故による環境放射能測定値については、福島県災害対策本部のホームページ(<http://www.pref.fukushima.jp/>)で確認することができます。